



士幌の
志

魅力

～発見・創出・体験・体感

誇り

～好き・尊敬・愛着・自信

未来

～創生・交流・夢・発信

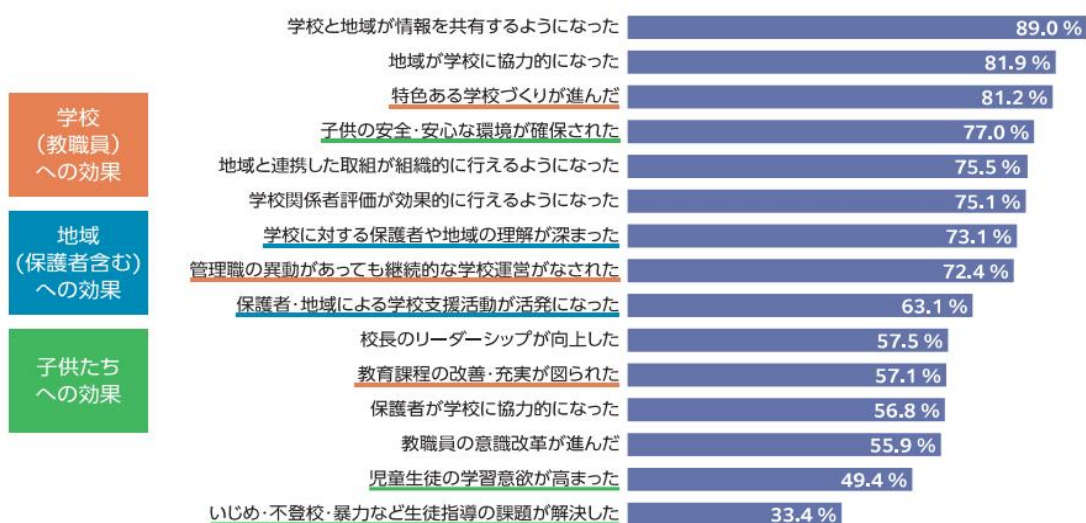
2024
2

作成：士幌町教育委員会

学校と地域の相互理解、連携・協働が進むことで、子供たちだけでなく学校や地域の関係者全員にメリットがある

CS導入校の校長を対象とした調査

Q: 貴校では学校運営協議会の設置・活動によって、どのような成果がえられましたか?



※CS導入校(校長)を対象とした調査において、肯定的な回答(「とてもあてはまる」「まああてはまる」の合計)のあった項目のうち主要なものを抜粋
出典:学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究(2021.3)(令和2年度文部科学省委託事業)

“関係者全員にメリット”となることが大事です。

上の資料は『学校と地域の課題解決につながるコミュニティ・スクールの推進～学校と地域がつながるために～』(全国コミュニティ・スクール連絡協議会・文部科学省)に記載のものです。

特に私が期待する効果が、「特色ある学校づくりが進む」「教育課程の改善・充実が図られる」という“学びの質の向上”です。そして、その結果「児童生徒の学習意欲が高まる」ことにより、「いじめ・不登校・暴力など生徒指導の課題が解決する」という方向に向かうことが期待できることなのです。

学校と地域が“win-win”の関係となるのが、この取組の大事なところ。士幌の取組も、一步一步着実に進んでいます。子どもも生き生き、先生も生き生き、地域も生き生き…。そんな教育活動が展開される姿が確実に増えてきています。今、重要視されている「非認知能力(数値で測れない能力:意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力など)」は、“CSと地学協働の一体的充実”で育まれることでしょう。こうした観点で、今年度の振り返りと次年度への期待を熟議していきたいと考えています。

◆「一月はいく、二月はにげる、三月はさる」。年度末は、まさにこんな感じですね。◆2月3日は節分。今年の恵方は東北東。そして4日が立春ですね。◆1/26は土用の丑の日!◆土用の丑の日は春夏秋冬、それぞれあるんだね。毎回、うなぎ食べたい私(笑)。◆1月は、土日ほとんどリンクにいた。茶色いお弁当で体重増?!2月はワカサギ釣りでもしたいなあ…。(渋谷)

大人の『本気』が子どもの『志』を育む!